

百貨店次世代EDI\_発注／GMS\_発注メッセージ項目対応一覧

凡 例		レベル1の項目
		レベル2の項目
		レベル3の項目
		レベル4の項目
		注意が必要な項目

百貨店次世代EDI_発注											GMS_発注											備考				
通番	レベル	カテゴリ	名寄せ項目名	タイプ	データ型	桁数	必須=M、任意=O、不要=-			項目の意味	項番	レベル	カテゴリ	名寄せ後項目名	タイプ	XMLデータ型	桁数	階層	M/O	項目の意味						
							集約版	GTIN	値札																	
1	1	SB0H	メッセージ種	英数	Code	3	M	M	M	EDIメッセージの名称、区分	2	1	SB0H	メッセージ種	英数	Code	3	F	M	送信メッセージのメッセージ種 例:発注、請求						
2	1	SB0H	データ作成日	数字	Date	8	M	M	M	送信データを作成した日付を表す	3	1	SB0H	データ作成日	数字	Date	8	F	M	このメッセージが作成された日付。						
3	1	SB0H	データ作成時刻	数字	Time	6	M	M	M	送信データを作成した時刻	4	1	SB0H	データ作成時刻	数字	Date	6	F	M	このメッセージが作成された時刻。					「データ型」が異なる	
4	1	送受信ヘッダ	訂正コード	数字	Code	1	M	M	M	データが新規が取消かを示す	0	1	SB0H	テスト区分	数字	Code	1	F	M	このメッセージが本番用なのかテスト用なのかを判別する区分。通信の接続テストや、論理チェック含むデータの送受信テスト時に使用する。					GMSでは必須だが百貨店に無い	
5	1	送受信ヘッダ	送信相手先コード	数字	Identifier	13	M	M	M	データの最終送信先を表す企業コード (GLN)	32	1	送受信ヘッダ	最終送信先	英数	Code	8	F	M	現行JCA手続との併用期間中、宛先(ステーションアドレス)単位の送受信件数の集計を行うために必要。					「タイプ」と「データ型」と「桁数」が異なる	
											8	1	SB0H	データ送信元	英数	Code	8	F	M	現行JCA手続との併用期間中、宛先(ステーションアドレス)単位の送受信件数の集計を行うために必要。					GMSでは必須だが百貨店に無い	
											48	1	SB0H	直接送信先	英数	Code	8	F	M	現行JCA手続との併用期間中、宛先(ステーションアドレス)単位の送受信件数の集計を行うために必要。					GMSでは必須だが百貨店に無い	
6	1	<発注者>G	百貨店企業コード	数字	Identifier	13	M	M	M	百貨店の企業コードを表す (GLN)	15	1	<発注者>	発注者GLN	数字	Identifier	MAX13	DH	M	当該取引で商品発注を行う小売企業を表すGLN。					GMSでは必須だが百貨店に無い	
											14	1	<発注者>	発注者コード	数字	Identifier	MAX13	DH	M	当該取引で商品発注を行う小売企業を表すコード。小売の法人コード。					GMSでは必須だが百貨店に無い	
7	1	<発注者>G	百貨店企業名	文字	Text	30	O	O	O	百貨店企業の名称	16	1	<発注者>	発注者名称	文字	Text	MAX20	DH	O	14「発注者コード」の名称。帳票作成等に使用する。					「桁数」が異なる	
											17	1	<発注者>	発注者名称カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX20	DH	O	14「発注者コード」の名称(半角カナ)。帳票作成等に使用する。						
8	1	<取引先>G	仕入企業コード	数字	Identifier	13	M	M	M	仕入企業を表す (GLN)	39	2	<取引先>	取引先GLN	数字	Identifier	MAX13	DH	M	当該取引の受注～出荷～納品を行う企業を表すGLN。通常は38「請求取引先GLN」と同じ値が入るが、受注～出荷～納品を行う複数企業分を集約してグループ内の1社が商品代金請求を行う等の場合には、個々の企業の取引先GLNをセット、したがって請求取引先GLNとは異なる値が入る。					「レベル」が異なる	
											38	2	<取引先>	取引先コード	数字	Identifier	MAX13	DH	M	当該取引の受注～出荷～納品を行う企業を表すコード。通常は34「請求取引先コード」と同じ値が入るが、受注～出荷～納品を行う複数企業分を集約してグループ内の1社が商品代金請求を行う等の場合には、個々の企業の取引先コードをセット、したがって請求取引先コードとは異なる値が入る。					GMSでは必須だが百貨店に無い	
											42	2	<取引先>	枝番	英数	Identifier	2	DH	O	同一取引先コード内で、取引データを分けて管理する必要がある場合に当事者間合意の上で使用。(小売側が設定)						
											43	2	<取引先>	出荷先コード	英数	Identifier	4	DH	O	38「取引先コード」+42「枝番」のくりくの中で、さらに取引データを分ける必要がある場合に当事者間合意の上で使用(小売側が設定)						
9	1	<取引先>G	仕入企業名	文字	Text	30	O	O	O	仕入企業の名称	40	2	<取引先>	取引先名称	文字	Text	MAX20	DH	O	38「取引先コード」に対する名称。帳票作成 等に使用する。					「レベル」と「桁数」が異なる	
											41	2	<取引先>	取引先名称カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX20	DH	O	38「取引先コード」に対する名称(半角カナ)。帳票作成 等に使用する。						
11	2	<伝票単位情報>D <取引内容>G	発注集約管理番号	数字	Numeric	13	O	O	O	一回の発注操作の発注データをくくる集約番号																
10	2	<伝票単位情報>D <取引内容>G	発注伝票番号	数字	Numeric	13	M	M	M	発注伝票番号。納品提案データにより発注する場合は、納品提案番号を発注伝票番号とする	85	2	<取引>	取引番号(発注・返品)	数字	Identifier	MAX10	DH	M	小売側が受注者に行う発注、返品。の単位。 伝票番号と同一					「データ型」と「桁数」が異なる	
12	2	<伝票単位情報>D <取引内容>G	仕入伝票番号	数字	Numeric	13	O	O	O	仕入伝票番号																
13	2	<伝票単位情報>D <取引内容>G	出荷伝票番号	数字	Numeric	13	O	O	-	仕入先企業が商品出荷時に発行する出荷伝票番号																
50	3	<取引内容>G	発注伝票行番号	数字	Numeric	3	M	M	M	発注伝票の行番号	87	3	<取引明細>	取引明細番号(発注・返品)	英数	Identifier	MAX4	B	M	85「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。					「タイプ」と「データ型」と「桁数」が異なる	
51	3	<取引内容>G	仕入伝票行番号	数字	Numeric	3	O	O	O	仕入伝票の行番号																
52	3	<取引内容>G	出荷伝票行番号	数字	Numeric	3	O	O	-	仕入先企業が商品出荷時に発行する出荷伝票の行番号																
14	2	<伝票単位情報>D <取引内容>G	品別番号	数字	Code	10	M	M	M	百貨店の売場を表すコード	65	2	<取引内容>	商品分類(大)	英数	Identifier	MAX10	DH	M	小売側の商品分類コード。4階層(大中小細)の使用方法は小売側が決定し、取引当事者間で共有する。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)					「タイプ」と「データ型」が異なる	
27	2	<陳列場所>G	売場名	文字	Text	30	O	O	O	売場の名称	28	2	<陳列場所>	陳列場所コード	数字	Identifier	MAX13	DH	O	小売の商品陳列業務のために、商品の振りを分けてもらう単位。売場通路no、商品分類、等意味は当該側で設定					「データ型」と「桁数」が異なる	
25	2	<陳列場所>G	店出場所コード	数字	Code	13	O	O	O	納品した商品の店出場所を現すコード																
											120	2	<取引内容>	商品区分	数字	Code	2	DH	O	定章(プロパ)発注の特売(中目、目玉)発注を表す区分。						
24	2	<陳列場所>G	販売場所区分	数字	Code	2	O	O	O	百貨店が指定した販売場所がプロパ売場か催事場かなどを表す区分																
26	2	<陳列場所>G	店出場所名	文字	Text	30	O	O	O	納品した商品の店出場所名を現す	29	2	<陳列場所>	陳列場所名称	文字	Text	MAX20	DH	O	28「陳列場所コード」の名称。取引先にSCMラベル等に印刷してもらう場合にセット。					「桁数」が異なる	
											30	2	<陳列場所>	陳列場所名称カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX20	DH	O	28「陳列場所コード」の名称(半角カナ)。取引先にSCMラベル等に印刷してもらう場合にセット。					百貨店では必須だがGMSに無い	
15	2	<伝票単位情報>D <取引内容>G	仕入区分	数字	Code	2	M	M	M	仕入の区分(買取、委託、消化などを区分)																
16	2	<伝票単位情報>D <取引内容>G	仕入区分名称	文字	Text	10	O	O	O	仕入区分の名称を表す																
17	2	<伝票単位情報>D <取引内容>G	発注日	数字	Date	8	M	M	M	商品を発注した日付	121	2	<取引内容>	発注区分	数字	Code	2	DH	O	発注が行われた場所や、発注の形態を表す区分。内装はコードリストを参照。						
											69	2	<取引内容>	発注日	数字	Date	8	DH	M	当該取引における、小売側の商品発注日。(商品、原価、売価、数量はこの日に決定する。)						
18	2	<伝票単位情報>D <取引内容>G	納入指定日	数字	Date	8	M	M	M	発注時に指定された納入指定日																
19	2	<伝票単位情報>D <取引内容>G	納品開始希望日	数字	Date	8	M	M	M	商品の納品開始希望日	71	2	<取引内容>	最終納品先納品日	数字	Date	8	DH	M	22「最終納品先」または23「最終納品先GLN」への納品日。					考え方の整理が必要	
20	2	<伝票単位情報>D <取引内容>G	納品終了希望日	数字	Date	8	M	M	M	商品の納品終了希望日																
											70	2	<取引内容>	直接納品先納品日	数字	Date	8	DH	O	18「直接納品先」または19「直接納品先GLN」への納品日。						
21	2	<伝票単位情報>D <取引内容>G	店出予定日	数字	Date	8	O	O	O	納品された商品を出店する予定日(発注書印字用)																
22	2	<伝票単位情報>D <取引内容>G	発注メモ	文字	Text	30	O	O	O	発注データに記述するメモ文	164	2	<取引内容>	自由使用欄	文字	Text	MAX80	DH	O	伝票に表記する配達番号、配達日、売出日の集合体。別項目でメッセージとして使用。メモタイプでの使用に限定する(データとしての使用は不可)					「桁数」が異なる	
											165	2	<取引内容>	自由使用欄半角カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX80	DH	O	メモタイプでの使用に限定する(データとしての使用は不可)					「桁数」が異なる	
23	2	<取引先>G	仕入企業事業所コード	数字	Identifier	13	M	M	M	仕入企業の事業所を表すGLN	35	2	<請求取引先>	請求取引先GLN	数字	Identifier	MAX13	DH	M	当該取引の商品代金請求を小売に対して行う企業を表すGLN。通常は39「取引先GLN」と同じ値が入るが、受注～出荷～納品を行う複数企業分を集約してグループ内の1社が商品代金請求を行う等の場合には、その1社の取引先コードがセットされる。(決済用GLN) ※請求レスの場合のみ省略可						
											34	2	<請求取引先>	請求取引先コード	数字	Identifier	MAX13	DH	M	当該取引の商品代金請求を小売に対して行う企業を表すコード。通常は38「取引先コード」と同じ値が入るが、受注～出荷～納品を行う複数企業分を集約してグループ内の1社が商品代金請求を行う等の場合にはその1社の取引先コードがセットされる。※請求レスの場合のみ省略可					GMSでは必須だが百貨店に無い	
											36	2	<請求取引先>	請求取引先名	文字	Text	MAX20	DH	O	34「請求取引先コード」に対する名称。						
											37	2	<請求取引先>	請求取引先名カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX20	DH	O	34「請求取引先コード」に対する名称(半角カナ)。						
28	2	<物流関連指示>G	代行ASN	数字	Code	1	O	O																		

百貨店次世代EDI\_発注／GMS\_発注メッセージ項目対応一覧

凡 例		レベル1の項目
		レベル2の項目
		レベル3の項目
		レベル4の項目
		注意が必要な項目

百貨店次世代EDI_発注										GMS_発注											
通番	レベル	カテゴリ	名寄せ項目名	タイプ	データ型	桁数	必須=M、任意=O、不要=-			項目の意味	項番	レベル	カテゴリ	名寄せ後項目名	タイプ	XMLデータ型	桁数	階層	M/O	項目の意味	備考
							買取用														
							集約版	GTIN	値札												
58	3	<商品>G	商品名称	文字	Text	50	M	M	M	商品の名称	55	3	<商品>	商品名	文字	Text	MAX25	B	O	51「商品コード(発注用)」に対する名称。帳票作成等に使用する。	「桁数」が異なる
59	3	<商品>G	商品名称半角カナ	英数カナ	Text	50	O	O	O	商品の名称(半角カナ)	56	3	<商品>	商品名カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX25	B	O	51「商品コード(発注用)」に対する名称(半角カナ)。帳票作成等に使用する。	「タイプ」と「桁数」が異なる
54	3	<取引内容>G	取引条件コード	数字	Code	10	M	M	M	百貨店と仕入先企業間の取引条件(原価率など)を表す百貨店設定のコード										百貨店では必須だがGMSに無い	
60	3	<カラー>G	メーカーカラーコード	英数カナ	Text	10	O	O	O	メーカー設定のカラーコード	59	3	<カラー>	カラーコード	英数	Identifier	MAX10	B	O	商品の色を表すコード。コード体系は当事者個別で決定。標準コード使用を今後検討。59「カラーコード」に対する名称。帳票作成等に使用する。	「タイプ」と「データ型」が異なる
											61	3	<カラー>	カラー名称	文字	Text	MAX20	B	O		
											62	3	<カラー>	カラー名称カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX20	B	O	59「カラーコード」に対する名称(半角カナ)。帳票作成等に使用する。	
61	3	<サイズ>G	メーカーサイズコード	英数カナ	Text	10	O	O	O	メーカー設定のサイズコード	60	3	<サイズ>	サイズコード	英数	Identifier	MAX10	B	O	商品のサイズを表すコード。コード体系は当事者個別で決定。標準コード使用を今後検討。60「サイズコード」に対する名称。帳票作成等に使用する。	「タイプ」と「データ型」が異なる
											63	3	<サイズ>	サイズ名称	文字	Text	MAX30	B	O		
											64	3	<サイズ>	サイズ名称カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX30	B	O	60「サイズコード」に対する名称(半角カナ)。帳票作成等に使用する。	
62	3	<値札>D	値札種別	数字	Code	5	O	O	M	値札の種類を表す											
63	3	<売値>G	小売指示売単価税込	数字	Amount	9	M	M	M	百貨店が指定した売単価(税込)	95	3	<売値>	売単価	数字	Amount	MAX10	B	M	1取引明細の商品の商品売単価。	「桁数」が異なる
64	3	<売値>G	小売指示売単価税抜	数字	Amount	9	M	M	M	百貨店が指定した売単価(税抜)											
65	3	<売値>G	マークダウン後売単価税込	数字	Amount	9	O	O	O	マークダウン後の商品の売単価(税込)											
66	3	<売値>G	マークダウン後売単価税抜	数字	Amount	9	O	O	O	マークダウン後の商品の売単価(税抜)											
67	3	<原価>G	原単価税込	数字 (小数点有り)	Amount	11	M	M	M	税込の原単価	92	3	<原価>	原単価	数字 (小数点以下2桁有り)	Amount	MAX10	B	M	1取引明細の商品の単品原価。	「桁数」が異なる
68	3	<原価>G	原単価税抜	数字 (小数点有り)	Amount	11	M	M	M	税抜の原単価											
69	3	<発注数量>G	発注数量	数字	Quantity	9	M	M	M	商品の発注数量	104	3	<発注数量>	発注数量(バラ)	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	B	M	1取引明細(発注)単位での51「商品コード(発注用)」の小売原価の発注数。いわゆる「バラ」数。	「タイプ」と「桁数」が異なる
70	3	<発注数量>G	発注単位数	数字	Quantity	4	O	M	O	商品の発注単位数	106	3	<発注数量>	発注数量(発注単位数)	数字	Quantity	MAX6	B	M	発注単位換算した発注数量。発注単位×発注数量(発注単位数)=発注数量(バラ)	「桁数」が異なる
											111	2	<取引合計>	発注単位数量合計	数字	Quantity	MAX6	DH	O	1取引番号(発注)単位の106「発注数量(発注単位数)」の合計。	
71	3	<発注数量>G	発注単位入数	数字	Quantity	4	O	M	O	商品の発注単位あたりの入数	105	3	<発注数量>	発注単位	数字	Numeric	MAX4	B	M	発注に対する納品バラ数単位。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	「データ型」が異なる
											5	1	送受信ヘッダ	取引件数	数字	Numeric	7	F	O	このメッセージに含まれている取引番号の数。現状は伝票枚数になる。	
											11	1	<支払企業>	支払法人コード	数字	Identifier	MAX13	DH	M	納品された商品に対し、支払を行う小売側の企業を表すコード。通常は14「発注者コード」と同じ値が入るが、グループ企業等で仕入と支払が異なる場合には、異なる値が入る。	GMSでは必須だが百貨店に無い
											12	1	<支払企業>	支払法人GLN	数字	Identifier	MAX13	DH	M	納品された商品に対し、支払を行う小売側の企業を表すGLN。通常は15「発注者GLN」と同じ値が入るが、グループ企業等で仕入と支払が異なる場合には、異なる値が入る。	
											86	2	<取引>	取引付属番号	数字	Identifier	MAX10	DH	O	取引番号以外で当該取引に意味を持たせる必要がある場合。1取引番号ごとに付番。(例:客注番号、外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、返品元伝NO、配達伝票番号など)	
											26	2	<計上部番>	計上部番コード	数字	Identifier	MAX13	DH	M	所有権移転(小売の支払い義務発生)となる納品場所(小売の物流センター、または店舗)を表す。	GMSでは必須だが百貨店に無い
											27	2	<計上部番>	計上部番GLN	数字	Identifier	MAX13	DH	M	所有権移転(小売の支払い義務発生)となる納品場所(小売の物流センター、または店舗)を表す。	GMSでは必須だが百貨店に無い
											166	2	<計上部番>	計上部番名称(カナ)	文字(半角カナ)	Text	MAX20	DH	O		
											124	2	<物流関連指示>	納品経路	数字	Code	2	DH	O	店舗直送納品orセンター経由納品かを表す区分。	
											125	2	<物流関連指示>	便No	数字	Code	2	DH	O	小売店舗への納品配送便を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンターへ納品していただく。	
											126	2	<物流関連指示>	通過在庫区分	数字	Code	2	DH	O	小売センター納品後に、即店舗配送がされるか、センターに在庫されるかを表す。	
											127	2	<物流関連指示>	納品区分	数字	Code	2	DH	O	小売センターへの納品形態。単品総量納品か単品店別納品なのかを表す。	
											74	2	<取引内容>	計上日	数字	Date	8	DH	O	小売側の仕入計上日。返品の場合は返品計上日。当該取引の債権債務はこの日をもって発生。	
											75	2	<取引内容>	販促開始日	数字	Date	8	B	O	小売店舗の販促(セール)開始日。特売商品の在庫管理のために出荷者が納品時に梱包(SCMラベル等)に表記。	
											76	2	<取引内容>	販促終了日	数字	Date	8	B	O	小売店舗の販促(セール)終了日。特売商品の在庫管理のために出荷者が納品時に梱包(SCMラベル等)に表記。	
											78	2	<取引内容>	取引(発注・返品)データ有効日	数字	Date	8	DH	O	当該取引(発注・返品)の有効年月日。	
											122	2	<取引内容>	出荷データ有無区分	数字	Code	2	DH	O	小売が出荷データの作成を不要を指示する項目。	
											130	2	<取引内容>	PB区分	数字	Code	2	DH	O	当該商品が、小売のプライベートブランド商品か、パブリックブランド商品かを表す区分。	
											131	2	<取引内容>	配達温度区分	数字	Code	2	DH	O	温度により特別な処理を行う場合に告知する項目。配達温度帯指定、季節、小売の環境で変化する。	
											132	2	<取引内容>	酒区分	数字	Code	2	DH	O	当該発注商品が酒であるかどうか判別する区分。センターの納品ロケーションをコントロールする場合等にも使用。	
											133	2	<取引内容>	処理種別	数字	Code	2	DH	O	当該取引の種別(仕入、返品、移動、値引等)で小売で使用する伝票区分にあたる。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別にはメッセージ種を使用し、処理種別の内容で判断を求めることが無いようにする。	
											135	2	<取引内容>	伝票レス区分	数字	Code	2	DH	O	小売が受注者にペーパー伝票作成の要・不要を告知する区分。	
											88	3	<取引明細>	取引付属明細番号	英数	Identifier	MAX3	B	O	88「取引付属番号」の中の商品単位の明細番号。返品元伝の付NO	
											77	3	<取引明細>	配達予定日	数字	Date	8	B	O	配達必要商品の管理上、配達予定日を帳票などに表記してもらう必要がある場合、その日付。	
											79	3	<取引明細>	納品期限	数字	Text	MAX8	B	O	22「最終納品日」、23「最終納品先GLN」への納品許可日。製品の日付と比較して、入荷を許可する日付。	
											128	3	<取引明細>	センター納品詳細指示	数字	Code	2	B	O	納品形態を詳細に指示する場合、センターでの仕分けに必要な項目を告知。	
											49	3	<商品>	メーカーコード	数字	Identifier	MAX13	B	O	JANメーカーコード。メーカー別納品実績を把握する場合(リベート処理等)に使用。	
											57	3	<商品規格>	規格	文字	Text	MAX25	B	O	商品の規格(内容量、重量等)をあらわす。帳票作成等に使用する。	
											58	3	<商品規格>	規格カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX25	B	O	商品の規格(内容量、重量等)をあらわす。帳票作成等に使用する。	
											93	3	<原価>	原価金額	数字	Amount	MAX10	B	M	1取引明細の商品の原価金額(原価×数量)。	GMSでは必須だが百貨店に無い
											96	3	<売値>	売価金額	数字	Amount	MAX10	B	M	1取引明細の商品の売価金額(売価×数量)。	GMSでは必須だが百貨店に無い
											98	3	<税額>	税額	数字	Amount	MAX10	B	O	1取引明細の商品原価の消費税額。	
											107	3	<発注数量>	発注単位コード	数字	Code	2	B	M	発注商品の単位呼称。(例:Kg、cm、個等)	GMSでは必須だが百貨店に無い

百貨店次世代EDI入荷予定データ(伝票)／GMS\_出荷伝票メッセージ項目対応一覧

凡例		レベル1の項目
		レベル2の項目
		レベル3の項目
		レベル4の項目
		注意が必要な項目

百貨店次世代EDI入荷予定(伝票)														GMS_出荷伝票										備考	
通番	レベル	カテゴリ	名寄せ項目名	タイプ	データ型	桁数	必須=M、任意=O、不要=-						項目の意味	項番	レベル	カテゴリ	名寄せ後項目名	タイプ	XMLデータ型	桁数	商間	M/O	項目の意味		
							買取用																		
							集約版	GTIN	値札	無注あり無注なし無注あり無注なし															
1	1	SBDH	メッセージ種	英数	Code	3	M	M	M	M	M		EDIメッセージの名称、区分	2	1	SBDH	メッセージ種	英数	Code	3	F	M		送信メッセージのメッセージ種(例:発注、請求)	
2	1	SBDH	データ作成日	数字	Date	8	M	M	M	M	M		送信データを作成した日付を表す	3	1	SBDH	データ作成日	数字	Date	8	F	M		このメッセージが作成された日付。	
3	1	SBDH	データ作成時刻	数字	Time	6	M	M	M	M	M		送信データを作成した時刻	4	1	SBDH	データ作成時刻	数字	Date	6	F	M		このメッセージが作成された時間。	「データ型」が異なる
4	1	送受信ヘッダ	訂正コード	数字	Code	1	M	M	M	M	M		データが新規が取消かを示す												百貨店では必須だがGMSに無い
														0	1	SBDH	テスト区分	数字	Code	1	F	M		このメッセージが本番用なのかテスト用なのかを判別する区分。送信の種類テストや、処理チェック含むデータの送信テスト時に使用。	GMSでは必須だが百貨店に無い
5	1	送受信ヘッダ	送信相手先コード	数字	Identifier	13	M	M	M	M	M		データの最終送信先を表す企業コード(GLN)	9	1	送受信ヘッダ	最終送信先	英数	Code	8	F	O		現行JICA手続との併用期間中、宛先(ステーションアドレス)単位の送信件数の集計を行うために必要。	「タイプ」と「データ型」と「桁数」が異なる
														31	1	SBDH	データ送信元	英数	Code	8	F	M		現行JICA手続との併用期間中、宛先(ステーションアドレス)単位の送信件数の集計を行うために必要。	GMSでは必須だが百貨店に無い
														48	1	SBDH	直接送信先	英数	Code	8	F	M		現行JICA手続との併用期間中、宛先(ステーションアドレス)単位の送信件数の集計を行うために必要。	GMSでは必須だが百貨店に無い
6	1	<発注者>G	百貨店企業コード	数字	Identifier	13	M	M	M	M	M		百貨店の企業コードを表す(GLN)	15	1	<発注者>	発注者GLN	数字	Identifier	MAX13	DH	M		当該取引で商品発注を行う小売企業を表す	
														14	1	<発注者>	発注者コード	数字	Identifier	MAX13	DH	M		当該取引で商品発注を行う小売企業を表すコード。小売の法人コード。	GMSでは必須だが百貨店に無い
														16	1	<発注者>	発注者名称	文字	Text	MAX20	DH	O		14「発注者コード」の名称、帳票作成等に使用する。	
														17	1	<発注者>	発注者名称カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX20	DH	O		14「発注者コード」の名称(半角カナ)、帳票作成等に使用する。	
7	1	<取引先>G	仕入企業コード	数字	Identifier	13	M	M	M	M	M		仕入企業を表す(GLN)	39	2	<取引先>	取引先GLN	数字	Identifier	MAX13	DH	M		当該取引の受注～出荷～納品を行う企業を表すGLN。受注は38「請求取引先GLN」と同じ値が入るが、受注～出荷～納品を行う複数企業分を集約してグループ内の1社が商品代金請求を行う等の場合には、個々の企業の取引先GLNをセット。したがって請求取引先GLNとは異なる値が入る。	
														38	2	<取引先>	取引先コード	数字	Identifier	MAX13	DH	M		当該取引の受注～出荷～納品を行う企業を表すコード。通常は34「請求取引先コード」と同じ値が入るが、受注～出荷～納品を行う複数企業分を集約してグループ内の1社が商品代金請求を行う等の場合には、個々の企業の取引先コードをセット。したがって請求取引先コードとは異なる値が入る。	GMSでは必須だが百貨店に無い
														42	2	<取引先>	枝番	英数	Identifier	2	DH	O		同一取引先コード内で、取引データを分けて管理する必要がある場合に当事者間合意の上で使用(小売側が設定)。	
														43	2	<取引先>	出荷先コード	英数	Identifier	4	DH	O		38「取引先コード」+42「枝番」のくりの中で、さらに取引データを分ける必要がある場合に当事者間合意の上で使用(小売側が設定)。	
														40	2	<取引先>	取引先名称	文字	Text	MAX20	DH	O		38「取引先コード」に対する名称。帳票作成等に使用する。	
														41	2	<取引先>	取引先名称カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX20	DH	O		38「取引先コード」に対する名称(半角カナ)、帳票作成等に使用する。	
8	2	<出荷単位情報>D<出荷>D	出荷予定日	数字	Date	8	M	M	M	M	M		仕入先企業が出荷する商品の出荷予定日	77	3	<取引明細>	配達予定日	数字	Date	8	B	O		配達必要商品の管理上、配達予定日を帳票などに表記してもらう必要がある場合、その日付。	百貨店では必須だがGMSに無い
9	2	<直接納品先>G	直接納品先コード	数字	Identifier	13	M	M	M	M	M		取引先が商品を納品(搬入)する場所(様品場所・搬入場所)、直納の場合は店舗コード	18	2	<直接納品先>	直接納品先コード	数字	Identifier	MAX13	DH	O		卸/メーカーが商品を納品する場所(小売の物流センター、店舗)をあらわすコード。	
														19	2	<直接納品先>	直接納品先GLN	数字	Identifier	MAX13	DH	O		卸/メーカーが商品を納品する場所(小売の物流センター、店舗)をあらわすGLN。	
														20	2	<直接納品先>	直接納品先名称	文字	Text	MAX20	DH	O		18「直接納品先コード」の名称、帳票作成等に使用する。	
														21	2	<直接納品先>	直接納品先名称カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX20	DH	O		18「直接納品先コード」の名称(半角カナ)、帳票作成等に使用する。	
10	2	<最終納品先>G	納入先コード	数字	Identifier	13	M	M	M	M	M		商品が最終的に納入される場所(店舗、本部など)を表すコード(GLN)、直納の場合は直接納品先と同じ。	23	2	<最終納品先>	最終納品先GLN	数字	Identifier	MAX13	DH	M		最終的に商品が納品される場所(小売の物流センター又は店舗)をあらわすGLN。	
														22	2	<最終納品先>	最終納品先コード	数字	Identifier	MAX13	DH	M		最終的に商品が納品される場所(小売の物流センター又は店舗)をあらわすコード。店舗納品の場合はこのコードを基にSCMラベルを作成する。	GMSでは必須だが百貨店に無い
														24	2	<最終納品先>	最終納品先名称	文字	Text	MAX20	DH	O		22「最終納品先コード」の名称、帳票作成、SCMラベル印刷等に使用する。	
														25	2	<最終納品先>	最終納品先名称カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX20	DH	O		22「最終納品先コード」の名称(半角カナ)、帳票作成、SCMラベル印刷等に使用する。	
11	2	<取引内容>G	品別番号	数字	Code	10	M	M	M	M	M		百貨店の売場を表すコード	65	2	<取引内容>	商品分類(大)	英数	Identifier	MAX10	DH	M		小売側の商品分類コード。4階層(大(中)細)の使用法は小売側が決定し、取引当事者間で共有する。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群集 など)。	「タイプ」と「データ型」が異なる
														28	2	<陳列場所>	陳列場所コード	数字	Identifier	MAX13	DH	O		小売の商品陳列業務のために、商品の扱い分けも単位、売場階層、商品分類、等意味は当事者間で設定。	
														120	2	<取引内容>	商品区分	数字	Code	2	DH	O		定番(プロパティ)発注or特売(中目、目玉)発注を表す区分。	
														29	2	<陳列場所>	陳列場所名称	文字	Text	MAX20	DH	O		28「陳列場所コード」の名称。取引先にSCMラベル等に印刷してもらう場合にセット。	
														30	2	<陳列場所>	陳列場所名称カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX20	DH	O		28「陳列場所コード」の名称(半角カナ)、取引先にSCMラベル等に印刷してもらう場合にセット。	
12	2	<納品>D	納品予定日	数字	Date	8	M	M	M	M	M		商品の納品予定日	70	2	<取引内容>	直接納品先納品日	数字	Date	8	DH	M		18「直接納品先コード」または19「直接納品先GLN」への納品日。	考え方の整理が必要
17	3	<梱包/伝票単位情報>D<取引内容>	納入指定日	数字	Date	8	O	M	-	M	-		発注時に指定された納入指定日	71	2	<取引内容>	最終納品先納品日	数字	Date	8	DH	M		22「最終納品先コード」または23「最終納品先GLN」への納品日。	
														72	2	<取引内容>	訂正後直接納品先納品日	数字	Date	8	O			受注者が、18「直接納品先GLN」/「直接納品先GLN」への納品日を訂正する場合、訂正後の納品日をセット。	
13	3	<梱包/伝票単位情報>D<取引内容>	発注伝票番号	数字	Numeric	13	O	M	-	M	-		発注伝票番号。納品提案データにより発注する場合は、納品提案番号を発注伝票番号とする	85	2	<取引>	取引番号(発注・返品)	数字	Identifier	MAX10	DH	M		小売側が受注者に行う発注、返品の単位。伝票番号と同一。	「レベル」と「データ型」と「桁数」が異なる
14	3	<梱包/伝票単位情報>D<取引内容>	仕入伝票番号	数字	Numeric	13	O	-	M	-	M		仕入伝票番号												
15	3	<梱包/伝票単位情報>D<取引内容>	出荷伝票番号	数字	Numeric	13	M	M	M	M	M		仕入先企業が商品出荷時に発行する出荷伝票番号												
24	4	<取引内容>G	発注伝票行番号	数字	Numeric	3	O	M	-	M	-		発注伝票の行番号	87	3	<取引明細>	取引明細番号(発注・返品)	英数	Identifier	MAX4	B	M		85「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。	「レベル」と「タイプ」と「データ型」と「桁数」が異なる
25	4	<取引内容>G	仕入伝票行番号	数字	Numeric	3	O	-	M	-	M		仕入伝票の行番号												
26	4	<取引内容>G	出荷伝票行番号	数字	Numeric	3	M	M	M	M	M		仕入先企業が商品出荷時に発行する出荷伝票の行番号												
16	3	<梱包/伝票単位情報>D<取引内容>	発注日	数字	Date	8	O	M	-	M	-		商品を発注した日付	69	2	<取引内容>	発注日	数字	Date	8	DH	M		当該取引における、小売側の商品発注日。(商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。)	「レベル」が異なる
18	3	<梱包/伝票単位情報>D<取引内容>	仕入区分	数字	Code	2	M	M	M	M	M		仕入の区分(買取、委託、消化などを区分)												百貨店では必須だがGMSに無い
19	3	<梱包/伝票単位情報>D<取引内容>G	仕入企業事業所コード	数字	Identifier	13	M	M	M	M	M		仕入企業の事業所を表すGLN	35	2	<請求取引先>	請求取引先GLN	数字	Identifier	MAX13	DH	M		発注が行われた場所や、発注の形態を表す区分。内装はコードと区別。	「レベル」が異なる
														34	2	<請求取引先>	請求取引先コード	数字	Identifier	MAX13	DH	M		当該取引の商品代金請求を小売に対して行う企業を表すGLN。通常は39「取引先GLN」と同じ値が入るが、受注～出荷～納品を行う複数企業分を集約してグループ内の1社が商品代金請求を行う等の場合は、その1社の取引先コードがセットされる。(決済用GLN) 当該請求の用途のみを当該取引の商品代金請求を小売に対して行う企業を表すコード。通常は38「取引先コード」と同じ値が入るが、受注～出荷～納品を行う複数企業分を集約してグループ内の1社が商品代金請求を行う等の場合はその1社の取引先コードがセットされる。※請求レシの用途のみを認可。	GMSでは必須だが百貨店に無い
														36	2	<請求取引先>	請求取引先名称	文字	Text	MAX20	DH	O		34「請求取引先コード」に対する名称。	
														37	2	<請求取引先>	請求取引先名称カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX20	DH	O		34「請求取引先コード」に対する名称(半角カナ)。	
20	3	<物流関連通番>G	納入形態	数字	Code	2	O	O	O	O	O		商品の納入形態(ダンボール、ハンガー、オリコンなど)を表す	108	3	<発注数量>	発注商装コード	数字	Code	2	B	O		当事者間で、実部包形態に合った発注単位を設定している場合に限り、その商装を明示(バラ、ボール、ケース(この項目を使用する場合は107「発注単位コード」は必ず「個」になる)。	「レベル」が異なる
21	3	<税>D	税区分	数字	Code	2	M	M	M	M	M		消費税率の区分	147	2	<取引内容>	税区分	数字	Code	2	DH	O		課税、非課税を表す区分。	「レベル」が異なる
22	3	<税>D	税率	数字(小数点有り)	Numeric	9	M	M	M	M	M		消費税率	148	2										

百貨店次世代EDI入荷予定データ(伝票)／GMS\_出荷伝票メッセージ項目対応一覧

凡 例		レベル1の項目
		レベル2の項目
		レベル3の項目
		レベル4の項目
		注意が必要な項目

百貨店次世代EDI入荷予定(伝票)													GMS_出荷伝票										備考
通番	レベル	カテゴリ	名寄せ項目名	タイプ	データ型	桁数	必須=M、任意=O、不要=-				項目の意味	項番	レベル	カテゴリ	名寄せ後項目名	タイプ	XMLデータ型	桁数	簡冊	M/O	項目の意味		
							買取用																
							集約版	GTIN		値札													
								発注あり	発注なし													発注あり	
41	4	<欠品>G	欠品区分	数字	Code	2	O	O	-	O	-	発注に対して納品できない場合の理由を表す区分	148	3	<欠品>	欠品区分	数字	Code	2	B	O	出荷時に発注データと実出荷との間に不足(欠品)が発生した場合、出荷者がセットするその理由	「レベル」が異なる
42	4	<欠品>G	欠品数量	数字	Quantity	5	O	M	-	M	-	発注に対して納品不可の数量	118	3	<欠品>	欠品数量(バラ数)	数字 (小数点以下1桁有)	Quantity	MAX7	B	M	1取引明細(発注)単位の受注者側の欠品数(納品不足数)。バラ数量換算。	「レベル」と「タイプ」と「桁数」が異なる
													119	3	<欠品>	欠品数量(発注単位数)	数字	Quantity	MAX8	B	O	1取引明細(発注)単位の受注者側の欠品数(納品不足数)。発注単位換算。	
													5	1	送受信ヘッダ	取引件数	数字	Numeric	7	F	O	このメッセージに含まれている取引番号の数。現状は伝票1紙に1になる。	
													11	1	<支払企業>	支払法人コード	数字	Identifier	MAX13	DH	M	納品された商品に対し、支払を行う小売側の企業を表すコード。通常は14「発注者コード」と同じ値が入るが、グループ企業等で仕入と支払が異なる場合には、異なる値が入る。	GMSでは必須だが百貨店に無い
													12	1	<支払企業>	支払法人GLN	数字	Identifier	MAX13	DH	M	納品された商品に対し、支払を行う小売側の企業を表すGLN。通常は15「発注者GLN」と同じ値が入るが、グループ企業等で仕入と支払が異なる場合には、異なる値が入る。	GMSでは必須だが百貨店に無い
													86	2	<取引>	取引付属番号	数字	Identifier	MAX10	B	O	取引番号以外で当該取引に意味を持たせる必要がある場合。1取引番号ごと1に付番。(例：番注番号、外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、返品の元伝NO、配達伝票番号など)	
													26	2	<計上部署>	計上部署コード	数字	Identifier	MAX13	DH	M	所有権移転(小売の支払い義務発生)となる納品場所(小売の物流センター、または店舗)	GMSでは必須だが百貨店に無い
													27	2	<計上部署>	計上部署GLN	数字	Identifier	MAX13	DH	M	所有権移転(小売の支払い義務発生)となる納品場所(小売の物流センター、または店舗)を表すGLN。	GMSでは必須だが百貨店に無い
													166	2	<計上部署>	計上部署名称(カナ)	文字(半角カナ)	Text	MAX20	DH	O		
													46	2	<物流関連指示>	出荷場所GLN	数字	Identifier	MAX13	DH	O	取引先の出荷拠点を表す。取引先側が設定する物流用GLN。	
													47	2	<物流関連指示>	入荷管理用メーカーコード	数字	Identifier	MAX13	DH	O	受注者が自社で管理しているメーカーコード。同一メーカーでも配達先が異なることから、入荷時にコントロールする必要がある場合に使用。	
													89	2	<物流関連指示>	センター納品番番号	数字	Identifier	MAX10	B	O	小売のセンターに納品する際に納品者が使用する納品番の番号。	
													124	2	<物流関連指示>	納品経路	数字	Code	2	DH	O	店舗直接納品orセンター経由納品かを表す区分。	
													125	2	<物流関連指示>	便No	数字	Code	2	DH	O	小売店舗への納品配達便を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンターへ納品していただく。	
													126	2	<物流関連指示>	通過在庫区分	数字	Code	2	DH	O	小売センター納品後に、即店舗配達がされるか、センターに在庫されるかを表す。	
													127	2	<物流関連指示>	納品区分	数字	Code	2	O	小売センターへの納品形態。単品納品量か単品店別納品なのかを表す。		
													74	2	<取引内容>	計上日	数字	Date	8	DH	O	小売側の仕入計上日。返品の場合は返品計上日。当該取引の債権債務はこの日をもって発生する。	
													75	2	<取引内容>	販促開始日	数字	Date	8	B	O	小売店舗の販促(セール)開始日。特売商品の庫内管理のために出荷者が納品時に梱包(SCMラベル等)に表記。	
													76	2	<取引内容>	販促終了日	数字	Date	8	B	O	小売店舗の販促(セール)終了日。特売商品の庫内管理のために出荷者が納品時に梱包(SCMラベル等)に表記。	
													122	2	<取引内容>	出荷データ有無区分	数字	Code	2	DH	O	小売が出荷データの作成を要不要を指示する項目。	
													123	2	<取引内容>	EOS区分	数字	Code	2	DH	O	当該出荷データが小売からのEDIによる発注に基づくものかを判別する。	
													130	2	<取引内容>	PB区分	数字	Code	2	DH	O	当該商品が、小売のプライベートブランド商品か、ナショナルブランド商品かを表す区分。	
													131	2	<取引内容>	配達温度区分	数字	Code	2	DH	O	温度により特別な処理を行う場合に通知する項目。配達温度等指定。季節、小売の環境で変化する。	
													132	2	<取引内容>	酒区分	数字	Code	2	DH	O	当該発注商品が酒であるかどうかを判別する区分。センターの納品ロケーションをコントロールする際等に使用。	
													133	2	<取引内容>	処理種別	数字	Code	2	DH	O	当該取引の種別(仕入、返品、移動、検引等)で小売で使用する伝票区分にあたる。業者標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でメッセージ取引の識別にはメッセージ種を使用し、処理種別の内容で判断に判断を定めることが無いようにする。	
													135	2	<取引内容>	伝票レス区分	数字	Code	2	DH	O	小売が受注者にペーパー伝票作成の要・不要を指示する区分。	
													164	2	<取引内容>	自由使用欄	文字	Text	MAX60	DH	O	伝票に表記する配達番号、配達日、売出日の集合体。別項目でメッセージとして使用。メモタイプでの使用に限定する(データとしての使用は不可)。	
													165	2	<取引内容>	自由使用欄半角カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX60	DH	O	[半角カナ専用欄]伝票に表記する配達番号、配達日、売出日の集合体。別項目でメッセージとして使用。メモタイプでの使用に限定する(データとしての使用は不可)。	
													94	2	<取引合計>	原価金額合計	数字	Amount	MAX10	DH	O	1取引番号(発注・返品)単位の原価金額の合計。1取引明細の原価金額の足し上げ。	
													97	2	<取引合計>	売価金額合計	数字	Amount	MAX10	DH	O	1取引番号(発注・返品)単位の売価金額の合計。1取引明細の売価金額の足し上げ。	GMSでは必須だが百貨店に無い
													99	2	<取引合計>	税額合計金額	数字	Amount	MAX10	DH	O	1取引番号(発注・返品)の消費税額の合計。	GMSでは必須だが百貨店に無い
													110	2	<取引合計>	数量合計	数字	Quantity	MAX8	DH	O	1取引番号(発注)単位の104「発注数量(バラ)」の合計。	
													111	2	<取引合計>	発注単位数量合計	数字	Quantity	MAX8	DH	O	1取引番号(発注)単位の108「発注数量(発注単位数)」の合計。	
													88	3	<取引明細>	取引付属明細番号	英数	Identifier	MAX3	B	O	88「取引付属番号」の中の商品単位の明細番号。返品は元伝の付属NO。	
													79	3	<取引明細>	納品期限	数字	Text	MAX8	B	O	22「数量納品先」、23「最終納品先GLN」への納品許可日。製品の日付と比較して、入荷を許可する日付。	
													128	3	<取引明細>	センター納品詳細指示	数字	Code	2	B	O	納品形態を詳細に指示する場合、センターでの仕分けに必要な項目を告知。	
													49	3	<商品>	メーカーコード	数字	Identifier	MAX13	B	O	JANメーカーコード。メーカー別納品実績を把握する場合(リバート管理等)に使用。	
													57	3	<商品規格>	規格	文字	Text	MAX25	B	O	商品の規格(内容量、重量等)をあらわす。帳票作成等に使用する。	
													58	3	<商品規格>	規格カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX25	B	O	商品の規格(内容量、重量等)をあらわす。帳票作成等に使用する。	
													93	3	<原価>	原価金額	数字	Amount	MAX10	B	M	1取引明細の商品の原価金額(原価×数量)。	GMSでは必須だが百貨店に無い
													96	3	<売価>	売価金額	数字	Amount	MAX10	B	M	1取引明細の商品の売価金額(売価×数量)。	GMSでは必須だが百貨店に無い
													98	3	<税額>	税額	数字	Amount	MAX10	B	O	1取引明細の商品原価の消費税額。	
													105	3	<発注数量>	発注単位	数字	Numeric	MAX4	B	M	発注に対する納品バラ数単位。取引当事者間で決めの取り決め。共有する。	GMSでは必須だが百貨店に無い
													106	3	<発注数量>	発注数量(発注単位数)	数字	Quantity	MAX6	B	M	発注単位換算した発注数量。発注単位×発注数量(発注単位数)＝発注数量(バラ)。	GMSでは必須だが百貨店に無い
													107	3	<発注数量>	発注単位コード	数字	Code	2	B	M	発注商品の単位呼称。(例：Kg、cm、個等)。	GMSでは必須だが百貨店に無い
													80	4	<出荷荷姿情報>	賞味期限日	数字	Date	8	B	O	商品(またはその外箱)に印字されている賞味期限。ドラッグの納品時に必須。	
													81	4	<出荷荷姿情報>	製造日	数字	Date	8	B	O	商品(またはその外箱)に印字されている製造年月日。ドラッグの納品時に必須。	
													90	4	<出荷荷姿情報>	製造番号	英数	Identifier	16	B	O	製品の製造ロット番号(ドラッグの納品等)。	
													109	4	<出荷荷姿情報>	出荷荷姿コード	数字	Code	2	B	M	実際の出荷荷姿。卸・メーカーがセット。	GMSでは必須だが百貨店に無い
													114	4	<出荷荷姿情報>	出荷数量(出荷荷姿数)	数字	Quantity	MAX6	B	M		GMSでは必須だが百貨店に無い



百貨店次世代EDI入荷予定データ(梱包)／GMS出荷梱包(紐付けあり)メッセージ項目対応一覧

凡 例		レベル1の項目
		レベル2の項目
		レベル3の項目
		レベル4の項目
		注意が必要な項目

百貨店次世代EDI入荷予定梱包										GMS出荷梱包(紐付けあり)										備考
通番	レベル	カテゴリ	名寄せ項目名	タイプ	データ型	桁数	必須=M、任意=O、不要=-	買取用	項目の意味	項番	レベル	カテゴリ	名寄せ後項目名	タイプ	XMLデータ型	桁数	階層	M/O	項目の意味	
39	4	<売価>G	小売指示売単価税込	数字	Amount	9	M		百貨店が指定した売単価(税込)	95	4	<売価>	売単価	数字	Amount	MAX10	④/⑤/⑥	O	1取引明細の商品の商品売価単価。	「桁数」が異なる
40	4	<売価>G	小売指示売単価税抜	数字	Amount	9	M		百貨店が指定した売単価(税抜)											
41	4	<原価>G	原単価税込	数字 (小数点有り)	Amount	11	M		税込の原単価	92	4	<原価>	原単価	数字(小数点以下2桁有り)	Amount	MAX10	④/⑤/⑥	M	1取引明細の商品の単品原価単価。	「桁数」が異なる
42	4	<原価>G	原単価税抜	数字 (小数点有り)	Amount	11	M		税抜の原単価											
43	4	<発注数量>G	発注数量	数字	Quantity	9	M		商品の発注数量	104	4	<発注数量>	発注数量(バラ)	数字(小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	④/⑤/⑥	M	1取引明細(発注)単位での52「商品コード(発注用)」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。	「タイプ」と「桁数」が異なる
44	4	<出荷数量>G	出荷数量	数字	Quantity	6	M		仕入先企業が出荷する商品の数量	112	4	<出荷数量>	出荷数量(バラ)	数字(小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	④	M	1取引明細(発注)単位の商品出荷バラ数。	「タイプ」と「桁数」が異なる
45	4	<欠品>G	欠品区分	数字	Code	2	O		発注に対して納品できない場合の理由を表す区分	146	3	<欠品情報>	欠品区分	数字	Code	2	⑤	O	出荷時に発注データと実出荷との間に不足(欠品)が発生した場合、出荷者がセットするその理由。	「レベル」が異なる
46	4	<欠品>G	欠品数量	数字	Quantity	5	M		発注に対して納品不可の数量	118	3	<欠品情報>	欠品数量(バラ数)	数字(小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	⑤	M	1取引明細(発注)単位の出注者側の欠品数(納品不足数)。バラ数量換算。	「レベル」と「タイプ」と「桁数」が異なる
										119	3	<欠品情報>	欠品数量(発注単位数)	数字	Quantity	MAX6	⑤	O	1取引明細(発注)単位の出注者側の欠品数(納品不足数)。発注単位換算。	
										85	3	<欠品情報><取引明細>	取引番号(発注・返品)	数字	Identifier	MAX10	④/⑤/⑥	M	小売側が受注者に行う発注、返品の数。伝票番号と同一	GMSでは必須だが百貨店に無い
										87	3	<欠品情報><取引明細>	取引明細番号(発注・返品)	英数	Identifier	MAX4	④/⑤/⑥	M	86「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。返品は元伝のITFNO	GMSでは必須だが百貨店に無い
										69	3	<欠品情報><取引明細>	発注日	数字	Date	8	④/⑤/⑥	M	当該取引における、小売側の商品発注日。(商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。)	GMSでは必須だが百貨店に無い
										71	3	<欠品情報><取引明細>	最終納品先納品日	数字	Date	8	④/⑤/⑥	M	23「最終納品先」または24「最終納品先GLN」への納品日。	GMSでは必須だが百貨店に無い
										50	3	<欠品情報><商品>	商品コード(GTIN)	数字	Identifier	MAX14	④/⑤/⑥	M	共通商品コード。現状はJAN/EAN/UPCを使用。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット	GMSでは必須だが百貨店に無い
										51	3	<欠品情報><商品>	商品コード(発注用)	数字	Identifier	MAX14	④/⑤/⑥	M	当該取引の商品発注コード。共通商品コード(JAN/EAN/UPC)で発注を行う場合は、52「商品コード(GTIN)」と同じ値が入る。小売が管理し、受注者と共有している当事者間独自コードで受発注を行う場合は、そのコードがセットされる。(生鮮、アパレルなど)	GMSでは必須だが百貨店に無い
										52	3	<欠品情報><商品>	商品コード(取引先)	英数	Identifier	MAX14		O	受注者側の管理用商品コード。アパレルの品番などに使用。	
										53	3	<欠品情報><商品>	商品コード区分	数字	Code	3	④/⑤/⑥	M	52「商品コード(発注用)」のコード種を判断する際に使用。	GMSでは必須だが百貨店に無い
										65	3	<欠品情報><商品>	商品分類(大)	英数	Code	MAX10	④/⑤/⑥	M	小売側の商品分類コード。4階層(大中小細)の使用方法は小売側が決定し、取引当事者間で共有する。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	GMSでは必須だが百貨店に無い
										66	3	<欠品情報><商品>	商品分類(中)	英数	Code	MAX10	④/⑤/⑥	M	小売側の商品分類コード。4階層(大中小細)の使用方法は小売側が決定し、取引当事者間で共有する。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	GMSでは必須だが百貨店に無い
										67	3	<欠品情報><商品>	商品分類(小)	英数	Code	MAX10	④/⑤/⑥	O	小売側の商品分類コード。4階層(大中小細)の使用方法は小売側が決定し、取引当事者間で共有する。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	
										68	3	<欠品情報><商品>	商品分類(細)	英数	Code	MAX10	④/⑤/⑥	O	小売側の商品分類コード。4階層(大中小細)の使用方法は小売側が決定し、取引当事者間で共有する。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	
										120	3	<欠品情報><区分>	商品区分	数字	Code	2	④/⑤/⑥	M	定番(プロバー)発注or特売(中目、目玉)発注を表す区分。	
										121	3	<欠品情報><区分>	発注区分	数字	Code	2	④/⑤/⑥	M	発注が行われた場所や、発注の形態を表す区分。内容はコードリストを参照。	
										123	3	<欠品情報><区分>	EOS区分	数字	Code	2	④/⑤/⑥	O	当該出荷データが小売からのEDIによる発注に基づくものかを判別する。	
										133	3	<欠品情報><処理>	処理種別	数字	Code	2	④/⑤/⑥	O	当該取引の種別(仕入、返品、移動、値引 等)で小売で使用する伝票区分にあたる。小売・卸間でのメッセージ取引の識別にはメッセージ種を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	
										104	3	<欠品情報><発注数量>	発注数量(バラ)	数字(小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	④/⑤/⑥	M	1取引明細(発注)単位での52「商品コード(発注用)」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。	GMSでは必須だが百貨店に無い
										105	3	<欠品情報><発注数量>	発注単位	数字	Numeric	MAX4	④/⑤/⑥	M	発注に対する納品バラ数単位。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	GMSでは必須だが百貨店に無い
										106	3	<欠品情報><発注数量>	発注数量(発注単位数)	数字	Quantity	MAX6	④/⑤/⑥	O	発注単位換算した発注数量。発注単位×発注数量(発注単位数)=発注数量(バラ)	
										107	3	<欠品情報><発注数量>	発注単位コード	数字	Code	2	④/⑤/⑥	M	発注商品の単位呼称。(例:Kg、cm、個 等)	GMSでは必須だが百貨店に無い
										92	3	<欠品情報><原価>	原単価	数字(小数点以下2桁有り)	Amount	MAX10	④/⑤/⑥	M	1取引明細の商品の単品原価単価。	GMSでは必須だが百貨店に無い
										95	3	<欠品情報><売価>	売単価	数字	Amount	MAX10	④/⑤/⑥	O	1取引明細の商品の商品売価単価。	
										5	1	送受信ヘッダ	取引件数	数字	Numeric	7	F	O	このメッセージに含まれている取引番号の数。現状は伝票枚数になる。	
										46	1	<取引先>	出荷場所GLN	数字	Identifier	MAX13	①	O	取引先の出荷拠点を表す。取引先側が設定する物流用GLN	
										158	1	<取引先>	担当者	文字	Text	MAX10	①	O	出荷データ(梱包)に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名	
										159	1	<取引先>	担当者カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX10	①	O	出荷データ(梱包)に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名(カナ)	
										160	1	<取引先>	連絡先(TEL)	英数	Text	MAX12	①	O	158「担当者」の電話番号。	
										161	1	<取引先>	連絡先(FAX)	英数	Text	MAX12	①	O	158「担当者」のFAX番号。	
										89	1	<物流関連指示>	センター納品書番号	数字	Identifier	MAX10	②	O	小売のセンターに納品する際に納品者が使用する納品書の番号。	
										125	1	<物流関連指示>	便No	数字	Numeric	2	②	O	小売店舗への納品配達便を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。	
										155	2	<最終納品先>	カゴテナNO	数字	Identifier	MAX36	③	O	梱包NOがひもつく上の搬送機種の梱包NO。カゴ重やパレットを指定している。	
										156	3	<出荷梱包内容>	親梱包NO	数字	Identifier	MAX36	③	O	1つの商品で、複数梱包が発生する場合、梱包同士の紐付けを行う区分。 例) テーブルセットのテーブルと椅子 のような例	
										75	3	<陳列場所>	販促開始日	数字	Date	8	③	O	小売店舗の販促(セール)開始日。特売商品の庫内管理のために出荷者が納品時に梱包(SCMラベル等)に表記。	
										123	4	<区分>	EOS区分	数字	Code	2	④/⑤/⑥	O	当該出荷データが小売からのEDIによる発注に基づくものかを判別する。	
										133	4	<区分>	処理種別	数字	Code	2	④/⑤/⑥	O	当該取引の種別(仕入、返品、移動、値引 等)で小売で使用する伝票区分にあたる。小売・卸間でのメッセージ取引の識別にはメッセージ種を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	
										105	4	<発注数量>	発注数量	数字	Numeric	MAX4	④/⑤/⑥	M	発注に対する納品バラ数単位。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	GMSでは必須だが百貨店に無い
										106	4	<発注数量>	発注数量(発注単位数)	数字	Quantity	MAX6	④/⑤/⑥	O	発注単位換算した発注数量。発注単位×発注数量(発注単位数)=発注数量(バラ)	
										107	4	<発注数量>	発注単位コード	数字	Code	2	④/⑤/⑥	M	発注商品の単位呼称。(例:Kg、cm、個 等)	GMSでは必須だが百貨店に無い
										113	4	<出荷数量>	出荷数量(発注単位数)	数字	Quantity	MAX6	④	O	1取引明細(発注)単位の商品出荷の発注単位換算数。	
										80	4	<商品>	賞味期限日	数字	Date	8	④/⑤/⑥	O	商品(またはその外箱)に印字されている賞味期限。ドラッグの納品時に必須。	
										81	4	<商品>	製造日	数字	Date	8	④/⑤/⑥	O	商品(またはその外箱)に印字されている製造年月日。ドラッグの納品時に必須。	
										90	4	<商品>	製造番号	英数	Identifier	MAX16	④/⑤/⑥	O	製品の製造ロット番号(ドラッグの納品等)	
										54	3	<ITF情報>	ITFコード(集合包装GTIN)	数字	Identifier	MAX16	⑥	M	集合包装に印刷表示するためのバーコードシリアルコード。小売側の入荷検品時に利用。納品荷案に応じた集合包装用GTIN。	
										150	3	<ITF情報>	出荷ケース数	数字	Quantity	MAX6	⑥	M	出荷(梱包)単位の出荷数。出荷(梱包)データ内のITFレコードにセットする。	
											3	<ITF情報>	ITF人数(集合包装GTIN人数)	数字	Quantity	MAX4		O		
										28	3	<ITF情報><陳列場所>	陳列場所コード	数字	Identifier	MAX13	③/⑥	O	小売の商品陳列業務のために、納品の掛りを分けてもらう単位。売場通称no、商品分類、寄意味は当事者間で設定。	
										29	3	<ITF情報><陳列場所>	陳列場所名称	文字	Text	MAX20		O	28「陳列場所コード」の名称。取引先にSCMラベル等に印刷してもらう場合にセット。	
										30	3	<ITF情報><陳列場所>	陳列場所名称カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX20		O	29「陳列場所コード」の名称(半角カナ)。取引先にSCMラベル等に印刷してもらう場合にセット。	
										75	3	<ITF情報><陳列場所>	販促開始日	数字	Date	8	③	O	小売店舗の販促(セール)開始日。特売商品の庫内管理のために出荷者が納品時に梱包(SCMラベル等)に表記。	
										85	3	<ITF情報><取引明細>	取引番号(発注・返品)	数字	Identifier	MAX10	④/⑤/⑥	M	小売側が受注者に行う発注、返品の数。伝票番号と同一	
										87	3	<ITF情報><取引明細>	取引明細番号(発注・返品)	英数	Identifier	MAX4	④/⑤/⑥	M	86「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。返品は元伝のITFNO	
										69	3	<ITF情報><取引明細>	発注日	数字	Date	8	④/⑤/⑥	M	当該取引における、小売側の商品発注日。(商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。)	
										71	3	<ITF情報><取引明細>	最終納品先納品日	数字	Date	8	④/⑤/⑥	M	23「最終納品先」または24「最終納品先GLN」への納品日。	
										50	3	<ITF情報><商品>	商品コード(GTIN)	数字	Identifier	MAX14	④/⑤/⑥	M	共通商品コード。現状はJAN/EAN/UPCを使用(前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット	

百貨店次世代EDI入荷予定データ(梱包)／GMS出荷梱包(紐付けあり)メッセージ項目対応一覧

凡例		レベル1の項目
		レベル2の項目
		レベル3の項目
		レベル4の項目
		注意が必要な項目

百貨店次世代EDI入荷予定梱包								GMS_出荷梱包(紐付けあり)											備考
通番	レベル	カテゴリ	名寄せ項目名	タイプ	データ型	桁数	必須=M、任意=O、不要=-	項目の意味	項番	レベル	カテゴリ	名寄せ後項目名	タイプ	XMLデータ型	桁数	階層	M/O	項目の意味	
							買取用												
									51	3	<ITF情報><商品>	商品コード(発注用)	数字	Identifier	MAX14	④/⑤/⑥	M	当該取引の商品発注コード。共通商品コード(JAN/EAN/UPO)で発注を行う場合は、52f商品コード(GTIN)と同じ値が入る。小売が管理し、受注者と共有している当事者間独自コードで受発注を行う場合は、そのコードがセットされる。(生鮮、アパレルなど)	
									52	3	<ITF情報><商品>	商品コード(取引先)	英数	Identifier	MAX14		O	受注者側の管理用商品コード。アパレルの品番などに使用。	
									53	3	<ITF情報><商品>	商品コード区分	数字	Code	3	④/⑤/⑥	M	51f「商品コード(発注用)」のコード種を判断する際に使用。	
									65	3	<ITF情報><商品>	商品分類(大)	英数	Code	MAX10	④/⑤/⑥	M	小売側の商品分類コード。4階層(大中小細)の使用方法は小売側が決定し、取引当事者間で共有する。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	
									66	3	<ITF情報><商品>	商品分類(中)	英数	Code	MAX10	④/⑤/⑥	M	小売側の商品分類コード。4階層(大中小細)の使用方法は小売側が決定し、取引当事者間で共有する。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	
									67	3	<ITF情報><商品>	商品分類(小)	英数	Code	MAX10	④/⑤/⑥	O	小売側の商品分類コード。4階層(大中小細)の使用方法は小売側が決定し、取引当事者間で共有する。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	
									68	3	<ITF情報><商品>	商品分類(細)	英数	Code	MAX10	④/⑤/⑥	O	小売側の商品分類コード。4階層(大中小細)の使用方法は小売側が決定し、取引当事者間で共有する。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	
									80	3	<ITF情報><商品>	賞味期限日	数字	Date	8	④/⑥	O	商品(またはその外箱)に印字されている賞味期限。ドラッグの納品時に必須。	
									81	3	<ITF情報><商品>	製造日	数字	Date	8	④/⑥	O	商品(またはその外箱)に印字されている製造年月日。ドラッグの納品時に必須。	
									90	3	<ITF情報><商品>	製造番号	英数	Identifier	MAX16	④/⑥	O	製品の製造ロット番号(ドラッグの納品等)	
									120	3	<ITF情報><区分>	商品区分	数字	Code	2	④/⑤/⑥	M	定番(プロパ)発注or特売(中目、目玉)発注を表す区分。	
									121	3	<ITF情報><区分>	発注区分	数字	Code	2	④/⑤/⑥	M	発注が行われた場所や、発注の形態を表す区分。内容はコードリストを参照。	
									123	3	<ITF情報><区分>	EOS区分	数字	Code	2	④/⑤/⑥	O	当該出荷データが小売からのEDIによる発注に基づくものかを判別する。	
									133	3	<ITF情報><区分>	処理種別	数字	Code	2	④/⑤/⑥	O	当該取引の種別(仕入、返品、移動、値引 等)で小売で使用する伝票区分にあたる。小売・卸間でのメッセージ取引の識別にはメッセージ種を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	
									104	3	<ITF情報><発注数量>	発注数量(バラ)	数字(小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	④/⑤/⑥	M	1取引明細(発注)単位での52f「商品コード(発注用)」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。	
									105	3	<ITF情報><発注数量>	発注単位	数字	Numeric	MAX4	④/⑤/⑥	M	発注に対する納品バラ数単位。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	
									106	3	<ITF情報><発注数量>	発注数量(発注単位数)	数字	Quantity	MAX6	④/⑤/⑥	O	発注単位換算した発注数量。発注単位×発注数量(発注単位数)=発注数量(バラ)	
									107	3	<ITF情報><発注数量>	発注単位コード	数字	Code	2	④/⑤/⑥	M	発注商品の単位呼称。(例:Kg、cm、個 等)	
									112	3	<ITF情報><出荷数量>	出荷数量(バラ)	数字(小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	④	M	1取引明細(発注)単位の商品出荷バラ数。	
									113	3	<ITF情報><出荷数量>	出荷数量(発注単位数)	数字	Quantity	MAX6	④	O	1取引明細(発注)単位の商品出荷の発注単位換算数。	
									92	3	<ITF情報><原価>	原単価	数字(小数点以下2桁有り)	Amount	MAX10	④/⑤/⑥	M	1取引明細の商品の単品原価単価。	
									95	3	<ITF情報><売価>	売単価	数字	Amount	MAX10	④/⑤/⑥	O	1取引明細の商品の商品売価単価。	

百貨店次世代EDI検品受領データ(伝票)／GMS受領伝票メッセージ項目対応一覧

凡 例		レベル1の項目
		レベル2の項目
		レベル3の項目
		レベル4の項目
		注意が必要な項目

百貨店次世代EDI検品受領(伝票)												GMS 受領伝票												備考
通番	レベル	カテゴリ	名寄せ項目名	タイプ	データ型	桁数	買取用					項目の意味	項番	レベル	カテゴリ	名寄せ後項目名	タイプ	XML データ型	桁数	階層	M/O	項目の意味		
							必須=M、任意=O、不要=-																	
							集約版	GTIN	値札	発注あり発注なし発注あり発注なし														
1	1	SBDH	メッセージ種	英数	Code	3	M	M	M	M	M	EDIメッセージの名称、区分	2	1	SBDH	メッセージ種	英数	Code	3	F	M	送信メッセージのメッセージ種(例)発注、請求等。		
2	1	SBDH	データ作成日	数字	Date	8	M	M	M	M	M	送信データを作成した日付を表す	3	1	SBDH	データ作成日	数字	Date	8	F	M	このメッセージが作成された日付。	「データ型」が異なる	
3	1	SBDH	データ作成時刻	数字	Time	6	M	M	M	M	M	送信データを作成した時刻	4	1	SBDH	データ作成時刻	数字	Date	6	F	M	このメッセージが作成された時間。	百貨店では必須だがGMSに無い	
4	1	送受信ヘッダ	訂正コード	数字	Code	1	M	M	M	M	M	データが新規が取消を示す											GMSでは必須だが百貨店に無い	
													0	1	SBDH	テスト区分	数字	Code	1	F	M	このメッセージが本番用なのかテスト用なのかを判別する区分。通信の接続テストや、論理チェック含むデータの送受信テスト時に使用。		
5	1	送受信ヘッダ	送信相手先コード	数字	Identifier	13	M	M	M	M	M	データの最終送信先を表す企業コード(GLN)	32	1	送受信ヘッダ	最終送信先	英数	Code	8	F	M	現行JCA手帳との併用期間中、宛先(ステーションアドレス)単位の送受信件数の集計を行うために必要。	「タイプ」と「データ型」と「桁数」が異なる	
													8	1	SBDH	データ送信元	英数	Code	8	F	M	現行JCA手帳との併用期間中、宛先(ステーションアドレス)単位の送受信件数の集計を行うために必要。	GMSでは必須だが百貨店に無い	
													48	1	SBDH	直接送信先	英数	Code	8	F	M	現行JCA手帳との併用期間中、宛先(ステーションアドレス)単位の送受信件数の集計を行うために必要。	GMSでは必須だが百貨店に無い	
6	1	<発注者>G	百貨店企業コード	数字	Identifier	13	M	M	M	M	M	百貨店の企業コードを表す(GLN)	15	1	<発注者>	発注者GLN	数字	Identifier	MAX13	DH	M	当該取引で商品発注を行う小売企業を表すGLN。		
													14	1	<発注者>	発注者コード	数字	Identifier	MAX13	DH	M	当該取引で商品発注を行う小売企業を表すコード。小売の法人コード。	GMSでは必須だが百貨店に無い	
													16	1	<発注者>	発注者名称	文字	Text	MAX20	DH	O	「14」発注者コード」の名称。帳票作成等に使用する。		
													17	1	<発注者>	発注者名称カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX20	DH	O	「14」発注者コード」の名称(半角カナ)。帳票作成等に使用する。		
7	1	<取引先>G	仕入企業コード	数字	Identifier	13	M	M	M	M	M	仕入企業を表す(GLN)	39	2	<取引先>	取引先GLN	数字	Identifier	MAX13	DH	M	当該取引の受注～出荷～納品を行う企業を表すGLN。通常は35「請求取引先GLN」と同じ値が入るが、受注～出荷～納品を行う複数企業分を集約してグループ内の1社が商品代金請求を行う等の場合には、個々の企業の取引先GLNをセット。したがって請求取引先GLNとは異なる値が入る。	「レベル」が異なる	
													38	2	<取引先>	取引先コード	数字	Identifier	MAX13	DH	M	当該取引の受注～出荷～納品を行う企業を表すコード。通常は34「請求取引先コード」と同じ値が入るが、受注～出荷～納品を行う複数企業分を集約してグループ内の1社が商品代金請求を行う等の場合には、個々の企業の取引先コードをセット。したがって請求取引先コードとは異なる値が入る。	GMSでは必須だが百貨店に無い	
													42	2	<取引先>	枝番	英数	Identifier	2	DH	O	同一取引先コード内で、取引データを分けて管理する必要がある場合に当事者間合意の上で使用。(小売側が設定)		
													43	2	<取引先>	出荷先コード	英数	Identifier	4	DH	O	38「取引先コード」+42「枝番」のくくりの中で、さらに取引データを分ける必要がある場合に当事者間合意の上で使用(小売側が設定)		
													40	2	<取引先>	取引先名称	文字	Text	MAX20	DH	O	38「取引先コード」に対する名称。帳票作成等に使用する。		
													41	2	<取引先>	取引先名称カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX20	DH	O	38「取引先コード」に対する名称(半角カナ)。帳票作成等に使用する。		
8	2	<出荷単位情報>D <直接納品先>G	直接納品先コード	数字	Identifier	13	M	M	M	M	M	取引先が商品を納品(搬入)する場所(検品場所・搬入場所)、直納の場合は店舗コード	18	2	<直接納品先>	直接納品先コード	数字	Identifier	MAX13	DH	O	卸/メーカーが商品を納品する場所(小売の物流センター、店舗)をあらわすコード。		
													19	2	<直接納品先>	直接納品先GLN	数字	Identifier	MAX13	DH	O	卸/メーカーが商品を納品する場所(小売の物流センター、店舗)をあらわすGLN。		
													20	2	<直接納品先>	直接納品先名称	文字	Text	MAX20	DH	O	「18」直接納品先コード」の名称。帳票作成等に使用する。		
													21	2	<直接納品先>	直接納品先名称カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX20	DH	O	「18」直接納品先コード」の名称(半角カナ)。帳票作成等に使用する。		
9	2	<最終納品先>G	納入先コード	数字	Identifier	13	M	M	M	M	M	商品が最終的に納入される場所(店舗、本部など)を表すコード(GLN)、直納の場合は直接納品先と同一	23	2	<最終納品先>	最終納品先GLN	数字	Identifier	MAX13	DH	M	最終的に商品が納品される場所(小売の物流センター又は店舗)をあらわすGLN。		
													22	2	<最終納品先>	最終納品先コード	数字	Identifier	MAX13	DH	M	最終的に商品が納品される場所(小売の物流センター又は店舗)をあらわすコード。店別納品の場合、このコードを基にSCMラベルを作成する。	GMSでは必須だが百貨店に無い	
													24	2	<最終納品先>	最終納品先名称	文字	Text	MAX20	DH	O	22「最終納品先コード」の名称。帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。		
													25	2	<最終納品先>	最終納品先名称カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX20	DH	O	22「最終納品先コード」の名称(半角カナ)。帳票作成等に使用する。		
10	2	<取引内容>G	品別番号	数字	Code	10	M	M	M	M	M	百貨店の売場を表すコード	65	2	<取引内容>	商品分類(大)	英数	Identifier	MAX10	DH	M	小売側の商品分類コード。4階層(大中小細)の使用方法是小売側が決定し、取引当事者間で共有する。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	「タイプ」と「データ型」が異なる	
													28	2	<陳列場所>	陳列場所コード	数字	Identifier	MAX13	DH	O	小売の商品陳列業務のために、納品の括り分けを分けてもらう単位。売場通路no、商品分類、等意味は当事者間で設定。		
													120	2	<取引内容>	商品区分	数字	Code	2	DH	O	定数(ローバー発注or特売(中目玉)発注を表す区分。		
													29	2	<陳列場所>	陳列場所名称	文字	Text	MAX20	DH	O	28「陳列場所コード」の名称。取引先にSCMラベル等に印刷してもらう場合にセット。		
													30	2	<陳列場所>	陳列場所名称カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX20	DH	O	28「陳列場所コード」の名称(半角カナ)。取引先にSCMラベル等に印刷してもらう場合にセット。		
11	2	<納品>D	納品検品日	数字	Date	8	M	M	M	M	M	納品検品日	70	2	<取引内容>	直接納品先納品日	数字	Date	8	DH	M	「18」直接納品先」または「19」直接納品先GLN」への納品日。	考え方の整理が必要	
													71	2	<取引内容>	最終納品先納品日	数字	Date	8	DH	M	22「最終納品先」または「23」最終納品先GLN」への納品日。		
													72	2	<取引内容>	訂正後直接納品先納品日	数字	Date	8	DH	O	受注者が、「18」直接納品先」19「直接納品先GLN」への納品日を訂正する場合、訂正後の納品日をセット。		
													73	2	<取引内容>	訂正後最終納品先納品日	数字	Date	8	DH	O	受注者が、「18」直接納品先」19「直接納品先GLN」への納品日を訂正した場合、それに伴22「最終納品先」23「最終納品先GLN」への訂正後納品日を小売側が受領データ上でセット。		
													74	2	<取引内容>	計上日	数字	Date	8	DH	M	小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。当該取引の債権債務はこの日をもって発生。		
12	3	<伝票単位情報>D <取引内容>G	発注伝票番号	数字	Numeric	13	O	M	-	M	-	発注伝票番号。納品提案データにより発生する場合は、納品提案番号を発注伝票番号とする	85	2	<取引>	取引番号(発注・返品)	数字	Identifier	MAX10	DH	M	小売側が受注者に行う発注、返品、返品の単位。伝票番号と同一	「レベル」と「データ型」と「桁数」が異なる	
13	3	<伝票単位情報>D <取引内容>G	仕入伝票番号	数字	Numeric	13	O	O	M	O	M	仕入伝票番号												
15	4	<取引内容>G	発注伝票行番号	数字	Numeric	3	O	M	-	M	-	発注伝票の行番号	87	3	<取引明細>	取引明細番号(発注・返品)	英数	Identifier	MAX4	B	M	85「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。	「レベル」と「タイプ」と「データ型」と「桁数」が異なる	
16	4	<取引内容>G	仕入伝票行番号	数字	Numeric	3	O	O	M	O	M	仕入伝票の行番号												
													121	2	<取引内容>	発注区分	数字	Code	2	DH	O	発注が行われた場所や、発注の形態を表す区分。内容はコードリストを参照。	百貨店では必須だがGMSに無い	
14	4	<商品単位情報>D	データ処理番号	数字	Numeric	8	M	M	M	M	M	データの連続番号(最下位レベルで付番)												百貨店では必須だがGMSに無い
17	4	<取引内容>G	百貨店商品コード	数字	Code	20	O	O	O	O	O	百貨店設定の商品分類を表すコード	50	3	<商品>	商品コード(GTIN)	数字	Identifier	MAX14	B	M	共通商品コード。現状はJAN/EANUPCを使用(前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット	商品コード関連は、各項目がN:Mで紐づく	
													51	3	<商品>	商品コード(発注用)	数字	Identifier	MAX14	B	M	当該取引の商品発注コード。共通商品コード(JAN/EANUPC)で発注を行う場合は、50「商品コード(GTIN)」と同じ値が入る。小売が管理し、受注者と共有している当事者間独自コードで受発注を行う場合は、そのコードがセットされる。(生鮮、受注者側の管理用商品コード、アパレルの品番など)に使用。	考え方の整理が必要	
													52	3	<商品>	商品コード(取引先)	英数	Identifier	MAX14	B	O	51「商品コード(発注用)」のコード種を判断する際に使用する。		
													53	3	<商品>	商品コード区分	数字	Code	3	B	M	51「商品コード(発注用)」のコード種を判断する際に使用する。		
19	4	<商品>G	GTINコード	数字	Identifier	14	O	M	M	-	-	Global Trade Item Numberの略商品を識別する国際標準コード。当面は、13桁JANコードの場合はO+JANコードの14桁補記とする。8桁JANは、先頭にゼロ6桁を加えた14桁補記。UCCも先頭にゼロを加えて、14桁補記とする。インストアコード(売場で通常販売される商品に付番される8桁、もしくは13桁のJANタイプの商品コード)を含む。	66	2	<取引内容>	商品分類(中)	英数	Identifier	MAX10	DH	M	小売側の商品分類コード。4階層(大中小細)の使用方法是小売側が決定し、取引当事者間で共有する。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)		
													67	3	<取引明細>	商品分類(小)	英数	Identifier	MAX10	B	O	小売側の商品分類コード。4階層(大中小細)の使用方法是小売側が決定し、取引当事者間で共有する。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)		
													68	3	<取引明細>	商品分類(細)	英数	Identifier	MAX10	B	O	小売側の商品分類コード。4階層(大中小細)の使用方法是小売側が決定し、取引当事者間で共有する。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)		
													55	3	<商品>	商品名	文字	Text	MAX25	B	O	51「商品コード(発注用)」に対する名称。帳票作成等に使用する。		
20	4	<商品>G	商品名称半角カナ	英数カナ	Text	50	O	O	O	O	O	商品の名称(半角カナ)	56	3	<商品>	商品名カナ	文字(半角カナ)	Text	MAX25	B	O	51「商品コード(発注用)」に対する名称(半角カナ)。帳票作成等に使用する。		
18	4	<取引内容>G	取引条件コード	数字	Code	10	O	O	O	O	O	百貨店と仕入企業間の取引条件(原価率など)を表す百貨店設定のコード												
21	4	<発注数量>G	発注数量	数字	Quantity	9	O	M	-	M	-	商品の発注数量	104	3	<発注数量>	発注数量(バラ)	数字(小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	B	M	1取引明細(発注)単位での51「商品コード(発注用)」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。	「レベル」と「タイプ」と「桁数」が異なる	
22	4	<出荷数量>G	出荷数量	数字	Quantity	6	O	O	O	O	O	仕入企業が出荷する商品の数量	112	3	<出荷数量>	出荷数量(バラ)	数字(小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	B	M	1取引明細(発注)単位の商品出荷バラ数。	「レベル」と「タイプ」と「桁数」が異なる	
23	4	<受領数量>G	納品実検品数量	数字	Quantity	5	M	M	M	M	M	納品検品で実際にあった数量	115	3	<受領数量>	受領数量(バラ)	数字(小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	B	M	1取引明細(発注)単位の小売側の商品受領数。バラ数量計算(受注者側の出荷数との差異の有無にかかわらずセット)。	「レベル」と「タイプ」と「桁数」が異なる	
24	4	<受領数量>G	納品受入確定数量	数字	Quantity	5	M	M	M	M	M	納品で実際に受け入れた確定数量												
													5	1	送受信ヘッダ	取引件数	数字	Numeric	7	F	O	このメッセージに含まれている取引番号の数。現状は伝票枚数になる。		
													11	1	<支払企業>	支払法人コード	数字	Identifier	MAX13	DH	M	納品された商品に対し、支払を行う小売側の企業を表す		

百貨店次世代EDI検品受領データ(伝票)／GMS受領伝票メッセージ項目対応一覧

凡 例		レベル1の項目
		レベル2の項目
		レベル3の項目
		レベル4の項目
		注意が必要な項目

百貨店次世代EDI検品受領(伝票)										GMS 受領伝票										備考		
通番	レベル	カテゴリ	名寄せ項目名	タイプ	データ型	桁数	必須=M、任意=O、不要=-				項目の意味	項番	レベル	カテゴリ	名寄せ後項目名	タイプ	XML データ型	桁数	階層		M/O	項目の意味
							買取用		集約版													
							GTIN	値札	発注あり	発注なし												